

# 県大教職員組合ニュース 第81号

2016 (第3号) 2016年9月9日発行

静岡県公立大学教職員組合執行委員会

Tel & Fax 054-265-7231 E-mail office@shizunion.jp

## 「教員内部昇任」

### 部局へ提案基準の作成を依頼する

組合では、昨年度より内部昇任を、止めている理由を、法人へ書面で求めてきました。6月29日の団交で法人は「**これまでも内部昇任を止めていない。**」と従来の考えを変えておりませんでした。そこで、その内容を書面で提示するよう組合は要求し、7月27日付で法人より、「別紙書類」が出されました。

一方で、6月15日付で学長は、「**学部(大学院・短期大学部)教員内部昇任に係る提案基準の作成について(依頼)**」を、各部局長宛へ依頼し、8月9日までに総務局へ提出するよう求めております。本文4行目では、「内部昇任を実施するため学部からの提案基準について、部局での検討結果を尊重しつつ、全学的な合意に基づき明確化してまいります。」と話しております。

但し、上記についての取り組みは部局ごとに差があり、別紙の内容を全く知らない教員も数多くおります。また、組合に寄せられた意見では、ある部局では、内部昇任は「准教授のみを対象としている。」と発言した学部もあります。

組合では、今後も内部昇任が機能するように継続して要求していきます。

## 要望書（平成28年2月29日）回答について

平成28年2月29日組合では要望書を提出しておりました。要望項目は下記の5項目についてです。6月14日書面により回答が下記の通りありました。「1 谷田及び小鹿キャンパス駐車場の白線を引いてください。」については、既に谷田キャンパスに於いて実施されております。小鹿キャンパスに於いては未整備で継続して要求していきます。

「2 暴風防寒のため、看護棟と同じように薬学棟とホールの上に扉をつけて下さい。」については、継続して教育環境改善について取り組んでいきます。

「3 大学施設内のバリアフリー化促進に努めて下さい。」については、様々な事情から（以下参照）難色を示しています。

「4 出張旅費の明細書を教員に渡してください。」については、谷田キャンパスでは実施されており、小鹿キャンパスでも8月分より出張費等の明細が渡されるようになりました。

「5 学内の雨漏り箇所について、修繕してください。」については、下記の回答で示す通り、修繕箇所を継続して要求していきます。尚、建物の老朽化に伴う修繕箇所や電算システムなどの全体的な見直しが、平成31年4月を目途に実施される予定です。

平成 28 年 6 月 14 日

静岡県公立大学教職員組合様

静岡県立大学事務局総務部長

平成 28 年 2 月 29 日付け事務局要望に対する回答

**1 谷田及び小鹿キャンパス駐車場の白線を引いてください。**

**【回答】**

白線跡のアスファルトが劣化しており、白線だけ引けばいいか、アスファルトの舗装まで行わなければならないか検討が必要である。仮にアスファルトの舗装をやり直すとする、多額の費用がかかる。今年度は、暫定的に E、F、G、H 幅白線のみを引き直すことで対応したい。

**2 暴風防寒のため、看護棟と同じように薬学棟とホールの上に扉をつけて下さい。**

**【回答】**

薬学部棟の場合、防火扉があるため、看護棟と同様の場所への扉の設置は不可能と思われる。また、仮に、扉を取り付ける場合、給排気口などの設置工事も必要となり、多額の費用がかかる。硝子扉以外に暴風・防寒対策がないか検討させてほしい。

**3 大学施設内のバリアフリー化促進に努めて下さい。以下の箇所をバリアフリー化して下さい。**

- \* 正面玄関の階段箇所、車いすの方が入室できるように昇降機を設置する。
- \* 自動ドアの導入。はばたき棟入り口、図書館、学生ホールなど。
- \* 車椅子の学生もおり、各学部棟 1 F 正面 2 箇所の入り口のうち、1 箇所を自動ドアにする。

## 【回答】

車椅子での出入は、入試室脇の出入口の利用を想定しており、正面は、もともと車椅子での出入を想定していない。正面に昇降機を作るとなると、玄関自体の改修、車止め付近の平坦化など、大規模な改修工事を伴うこととなり、多額の費用が必要となるため、対応することはできない。

はばたき棟玄関に自動ドアを設置する場合、推定工事費 800～1000 万円もの費用が必要になる。障害者差別解消法が施行されたので、大学としてできることから（過度の負担とならないものから）実行していくが、図書館、学生ホール、各学部棟 1 F 正面についても、同様に多額の費用が必要になり、直ちに対応することは困難である。

なお、現在、車椅子を利用している教職員はおらず、国際関係学部に 1 人（男）いる。この学生は、原則として、母親が付き添って行動している。また、過去に車椅子を利用した学生がいたが、学生の要望により、講義室や言コミセンターの入り口の段差を解消する等の対応をしてきたところである。

現在、学内ハザードマップを作成中であり、車椅子による移動導線を周知することにより、車椅子利用者の便宜を図っていきたい。

## 4 出張旅費の明細書を教員に渡してください。

### 【回答】

旅費は、原則として、復命書が提出された翌月の 25 日に所定の口座に振り込まれており、その際、「代金振込みのお知らせ」（紙ベース）により旅費の金額及び件数を通知している。

旅行の内容を表示させるためには、財務会計システムに旅費システムの情報を取り込む必要があるが、システムの連動が難しい。また、手作業では膨大な処理が必要となるため、現在の体制では旅行の内容をお知らせすることは困難である。

現在の体制では、旅費の振込み通知がされた時点で、出納室担当者に問い合わせをしていただき、担当者が明細について確認するという方法をお勧めする。

なお、平成 31 年 4 月を目途に、旅費システムを含めたシステムの更新を行うこととしており、新システムの導入に当たっては、事前に教員の要望を聴く予定であり、その際に明細書の交付についても検討したい。

## 5 学内の雨漏り箇所について、修繕してください。

### (1) 薬学部棟 ア 6階 (6622室と6623室の間)

#### 【回答】

大雨の時、廊下の消火栓ボックス内に火報関係の制御線を引き込むための電線管を伝って水が侵入している。現在は、応急対策として、電線管出口でホースに雨水を受け、消火栓前においているバケツに溜めている。

電線管が屋上機械室の壁の中を通り、天井の感知器までつながっているため、雨水が機械室の壁か天井のクラックから入り、壁内にある電線管に伝わったと思われる。梅雨時にクラックの箇所を調査した上、クラックをふさぐ、電線管を新たに露出で配管するなどの方法を検討する。

### 薬学部棟 イ 5階から4階の階段おどり場

#### 【回答】

横殴りの強い雨の時に、壁から水が侵入し、踊り場が水浸しになる。外壁からの雨水の侵入と思われるが、場所は不明。

修繕の方法としては、漏水場所の特定ができないため、外壁煉瓦（階段部分）を4～6階部分まで全てはがして、内壁を塗膜防水する方法がベストと考えられる。しかし、外部足場も含め、相当の費用が想定されるので、早急な対応は困難であるため、当該工法の見積もりを徴取するとともに、他に効果的な工法がないか検討する。

### (2) 食品栄養科学部棟5121教員室

大雨の際、芝生公園側の床から水が染みてきて室内の床が濡れる。平成23年から施設室には連絡済みで、大雨の度に連絡するが修繕されていない状況にある。

#### 【回答】

大雨の時、壁際の床のカーペットが水浸しになる。内壁は濡れておらず、外壁を調べたところ、外壁の当該箇所部分にステンレス製の手摺が埋め込まれているため、その固定金具などを伝って雨水が内部に入り込んでいる可能性も考えられるが、特定はできていない。

まずは、原因の可能性のある手摺取付部のシーリング又は周辺外壁部の塗布防水を行い、様子を見ることとする。

(3) 看護学部棟4階 廊下の天井より雨漏りあり

**【回答】**

以前、トップライトとコンクリート土台の隙間から雨水が侵入し、4階の廊下に落ちていたが、平成27年11月までに、数回にわたるコーキング処理を行った結果、現在は、雨漏りはしていないものと思われる。

今後、雨漏りが生じるようなら、その時点で対応する。

(4) はばたき棟2階事務室、産学連携室前 雨天時にバケツが置かれている箇所

**【回答】**

昨年から、主に大雨の時、1階ロビー天井内にたまった水が天井板の隙間から漏れて落下するようになった。3階のトップライト周りの屋上から2階の天井内に雨水が侵入したものと思われる。

3階トップライト周りの防水処理は30年経過しているため、設計調査した上で、全面的にやり直す必要があるが、相当の費用がかかることが想定される。また、この工事には、2階天井部分の撤去、張替えも併せて行う必要があるので、工事時期も夏休みや春休みなどに限られる。

現在、専門業者に見積もりを依頼中だが、当面の対応として、大雨時には、天井裏にバケツを置いて対応する。範囲が広く、より被害が大きくなりそうな時には、天井裏にシートや受け皿を仕込み、雨水を集約して捨てることも検討する。